



## 2020年度 新入学生アンケート結果のご報告

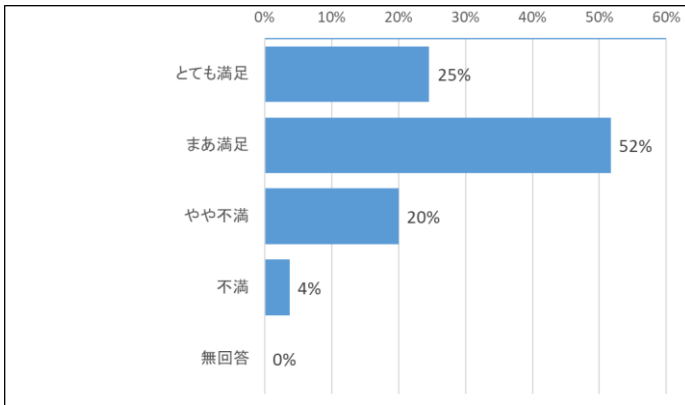
2020年6月に行った新入学生アンケートの集計結果(抜粋)をご報告いたします。

本アンケートは、毎年入学後約1ヶ月の段階で、新入学生の皆さんのご協力を得て実施しているものです。本年度は新型コロナウイルスの関係で、前期は全ての授業がリモートになったため、例年はアンケート用紙を配布・回収しているところを、本年度はオンラインの回答フォームでの実施・回収となりました。そのため、回答率や回答内容なども大きく異なるため、数値や率は他年度と直接比較できませんが、大学としては、いただいた意見やデータを真摯に受け止め、改善を図っていきたいと考えており、アンケートの全項目の集計結果と記述部分は学内各部署に回覧しました。

新入学生の皆さん、ご協力ありがとうございました。(アンケート回答率 63.1%)

広報・社会連携部広報課、ミッション推進会議、学務部

### 入学1か月後(現在)の心境



例年と全く傾向が異なる。

入学1ヶ月後の満足計は極めて低く統計を取り始めた2003年依頼、過去最低。同時に不満計は過去最高になった。

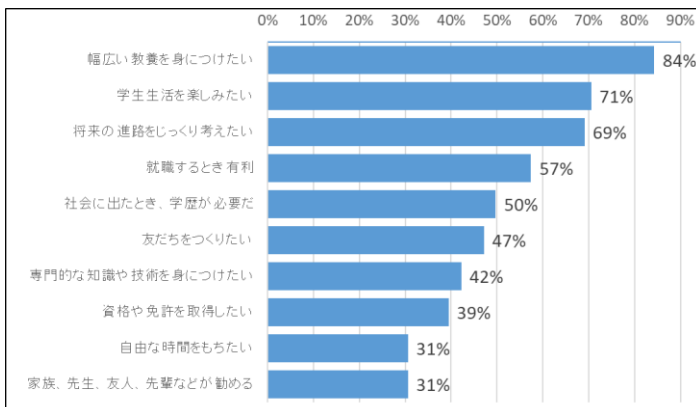
本年度は、一度も登校していないこと、例年より調査が多少遅かったこと、用紙の配布・回収による調査ではなくオンライン調査であることなど、例年とは条件が大きく異なることから、安全志向で第2志望以下での入学が増加したこ

とによるものかなどは不明。

本年度のアンケートでは、入学時点の満足度を調査項目から省いたこともあり、登校できていないことが結果に影響したかどうかについても判別できない。いずれにせよ、2020年の1年生には最大限のサポートが必要と考えられる。

(以下、30%以上の回答率の項目をグラフ表示)

### 大学進学の原因



50%以上の高い回答率がある理由は変化なく、例年通りの項目。

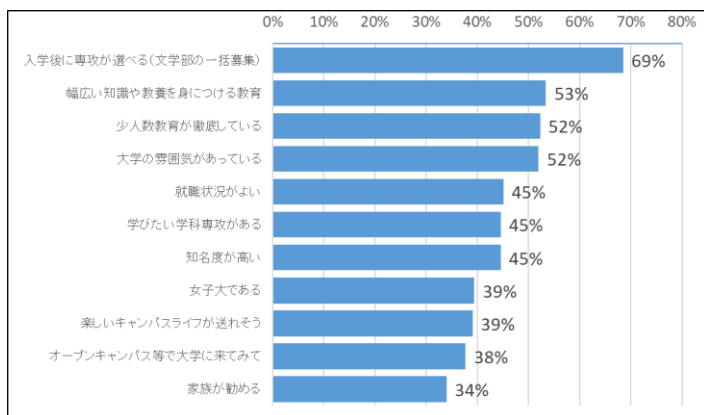
全体的に一人当たりの回答個数が増加し、多くの項目が前年を上回ったが、これはオンライン回答の影響も考えられる。

「幅広い教養を身につけたい」は、例年通り最も高い理由となっている。

「就職に有利」は2004年頃から増加しはじめ、2017年からは理由の第2位だったが、2020年は他項目が上位になったことで、第4位に後退した。選択率には変化がない。

「学生生活を楽しみたい」「友だちをつくりたい」が増加は、実際に登校できていないことの反動かも知れず、経年変化をみたい。

### 聖心女子大学受験のきっかけ

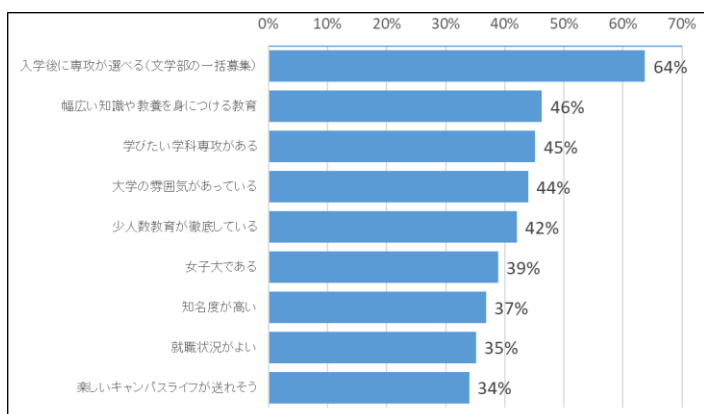


一人当たり回答項目数は、減少傾向だったが、2019年から増加に転じ、2020年は9項目目台と大幅増加となった。一人当たり回答数が増えたが、増加は上位の項目に集中している。

学生が受験大学を選択する理由が幅広くなってきた表れか、本年度はオンライン回答だったので増えたのか、経年変化をみたい。

「入学後に専攻が選べる」が70%近くに増加し、圧倒的となった。

### 聖心女子大学に入学を決めた理由



一人当たりの回答項目数は、「受験のきっかけ」同様に減少傾向だったが、2019年から増加に転じ、2020年は8項目目台に急増。

この項目も、オンライン回答だったからかも知れず、経年変化をみたい。

「入学後に専攻が選べる」が64%と急増し、圧倒的なトップとなった。

「幅広い知識や教養」「大学の雰囲気」「少人数教育」が急増。

逆に、例年上位の「就職状況」が急減し、上位項目から落ちた。

入学大学を決めるのに、就職よりも学びにシフトしてきたのか、経年変化をみたい。

### 意見・感想 自由記述について

自由記述で意見・感想も書いてもらった。ざっくりではあるが、内容は概ね次の通りに分類される。

- ・「オリエンテーション」「履修」「語学」といった履修やシステムの面について
- ・「施設・設備」について
- ・「大学の雰囲気」について
- ・「学生募集や入試」について
- ・「その他」について

なお、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止で大学に通学できない状態であるため、意見の中で早く登校したいと記載した新入学生は意見回答者中50%近くになった(曖昧な表現も含める)。

また、同様の理由で、友達作りが不安、友達作りのイベント希望、課外活動紹介希望、入学式のような催し希望、制服を着て登校したいという学生もいた。

肯定的な意見を記述してくれた新入学生が多かったが、改善点の指摘の意見も少なくなかった。それらも含めて大学への意見・感想等の記述は全て関連部署へ伝えた。